

三 國家總動員法關係

國家總動員法

(昭和十三年四月一日
法律第五十五號)

改正 昭和十四年四月五日法律第六十八號(イ)、昭和十六年三月三日法律第十九號(二)

第一條 本法ニ於テ國家總動員トヘ戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)ニ際シ國防目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ總動員物資トヘ左ニ掲グモノヲ謂フ

- 一 兵器、艦艇、彈藥其ノ他ノ軍用物資
- 二 國家總動員上必要ナル被服、食糧、飲料及飼料
- 三 國家總動員上必要ナル醫藥品、醫療機械器具其ノ他ノ衛生用物資及家畜衛生用物資
- 四 國家總動員上必要ナル船舶、航空機、車輛、馬其ノ他ノ輸送用物資
- 五 國家總動員上必要ナル通信用物資
- 六 國家總動員上必要ナル土木建築用物資及照通用物資
- 七 國家總動員上必要ナル燃料及電力

八 前各號ニ掲グルモノノ生産、修理、配給又ヘ保存ニ要スル原料、材料、機械器具、裝置其ノ他ノ物資

九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル物資

第三條 本法ニ於テ總動員業務トヘ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 總動員物資ノ生産、修理、配給、輸出、輸入又ヘ保管ニ關スル業務

二 國家總動員上必要ナル運輸又ヘ通信ニ關スル業務

三 國家總動員上必要ナル金融ニ關スル業務

四 國家總動員上必要ナル衛生、家畜衛生又ヘ救護ニ關スル業務

五 國家總動員上必要ナル教育訓練ニ關スル業務

六 國家總動員上必要ナル試驗研究ニ關スル業務

七 國家總動員上必要ナル情報又ヘ啓發宣傳ニ關スル業務

八 國家總動員上必要ナル警備ニ關スル業務

九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル業務

第四條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用

シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得但シ兵役法ノ適用ヲ妨ダズ

第五條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ國、地方公共團體又ヘ政府ノ指定スル者ノ行フ總動員業務ニ付協力セシムルコトヲ得(ろ)

第六條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ヘ解雇、就職、從業若ヘ退職又ヘ賃金、給料其ノ他ノ從業條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得(ろ)

第七條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得(ろ)

第九條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出若ヘ輸入ノ制限若ヘ禁止ヲ爲シ、輸出若ヘ輸入ヲ命ジ、輸出稅若ヘ輸入稅ヲ課シ又ヘ輸出稅若ヘ輸入稅

ヲ増課若ヘ減免スルコトヲ得

一〇六

第十條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ヲ使用若ヘ收用シ又ヘ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ヘ收用セシムルコトヲ得(ろ)

第十一條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債ノ募集若ヘ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ヘ禁止ヲ爲シ、會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ヘ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ資金ノ運用、債務ノ引受若ヘ債務ノ保證ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得(ろ)

第十二條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ總動員業務タル事業ヲ營ム會社ノ當該事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲ノ社債ノ募集ニ付商法第二百九十七條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得(い、ろ)

第十三條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ヘ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ヘ收用スルコトヲ得

政府ヘ前項ニ掲グルモノヲ使用又ヘ收用スル場合ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ從業者ヲ供用セシメ又ヘ當該施設ニ於テ現ニ實施スル特許發明若ヘ登錄實用新案ヲ實施スルコトヲ得政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務ニ必要ナル土地若ヘ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理、使用若ヘ收用シ又ヘ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ヘ收用セシムルコトヲ得(ろ)

第十四條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用若ヘ收用シ又ヘ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ特許發明及登錄實用新案ヲ實施セシメ若ヘ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用セシムルコトヲ得(ろ)

第十五條 前二條ノ規定ニ依リ政府ノ收用シタルモノ不用ニ歸シタル場合ニ於テ收用シタル時ヨリ十年内ニ拂下グルトキ又ヘ第十三條第三項ノ規定ニ依リ總動員業務ヲ行フ者ノ收用シタルモノ收用シタル時ヨリ十年内ニ不用ニ歸シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ舊所有者若ヘ舊權利者又ヘ其ノ一般承繼人ヘ優先ニ之ヲ買受クルコトヲ得(ろ)

第十六條 政府ヘ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル

一〇七

設備ノ新設、擴張若ヘ改良ヲ制限若ヘ禁止シ又ヘ總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ヘ改良ヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ二 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備又ヘ權利ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ヘ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得(る)

第十六條ノ三 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ開始、委託、共同經營、讓渡、廢止若ヘ休止又ヘ法人ノ目的變更、合併若ヘ解散ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得(る)

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ヘ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當該事業ニ關スル統制協定ノ設定、變更若ヘ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制協定ノ設定、變更若ヘ取消ヲ命ジ又ヘ統制協定ノ加盟者若ヘ其ノ統制協定ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制協定ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得(る)

第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ヘ異種ノ事業ノ事業主又ヘ其ノ團體ニ對シ當該事業ノ統制又ヘ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團

體又ヘ會社ノ設立ヲ命ズルコトヲ得(る)

前項ノ命令ニ依リ設立セラル團體へ法人トス(る)

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ヘ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ團體成立シタルトキハ政府ヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該團體ノ構成員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ團體ノ構成員タラシムルコトヲ得(る)

政府ハ第一項ノ團體ニ對シ其ノ構成員(其ノ構成員ノ構成員ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ事業ニ關スル統制規程ノ設定、變更若ヘ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設定若ヘ變更ヲ命ジ又ヘ其ノ構成員若ヘ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得(る)

第一項ノ團體又ヘ會社ニ關シ必要ナル事項ヘ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(る)

第十八條ノ二 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ設備若ヘ權利ノ讓渡若ヘ出資ヲ命ジ又ヘ第十六條ノ三ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡者又ヘ出資者ノ負擔スル債務ノ承繼及其实保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ヘ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(る)

第十八條ノ三 第十六條ノ二ノ規定ニ依ル設備若ヘ権利ノ譲渡若ヘ出資、第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ譲渡若ヘ法人ノ合併又ヘ第十八條第一項若ヘ第三項ノ規定ニ依リ設立セラルル團體若ヘ會社ニ付テヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ課稅標準ノ計算ニ關スル特例ヲ設ケ又ヘ租稅ノ減免ヲ爲スコトヲ得(ろ)

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送費、保管料、保險料、貨貸料、加工費、修繕料其ノ他ノ財產的給付ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得(ろ)

第二十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ新聞紙其ノ他ノ出版物ノ掲載ニ付制限又ヘ禁止ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ制限又ヘ禁止ニ違反シタル新聞紙其ノ他ノ出版物ニシテ國家總動員上支障アルモノノ發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フルコトヲ得此ノ場合ニ於テヘ併セテ其ノ原版ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇傭若ヘ使用スル者ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又ヘ帝國臣民ノ職

業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

第二十二條 政府ハ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校、養成所、工場、事業場其ノ他技能者ノ養成ニ適スル施設ノ管理者又ヘ養成セラルベキ者ノ雇傭主ニ對シ國家總動員上必要ナル技能者ノ養成ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 政府ハ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生產、販賣又ヘ輸入ヲ業トスル者ヲシテ當該物資又ハ其ノ原料若ヘ材料ノ一定數量ヲ保有セシムルコトヲ得

第二十四條 政府ハ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ノ事業主又ヘ戰時ニ際シ總動員業務ヲ實施セシムベキ者ヲシテ戰時ニ際シ實施セシムベキ總動員業務ニ關スル計畫ヲ設定セシメ又ヘ當該計畫ニ基キ必要ナル演練ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 政府ハ國家總動員上必要アルトキヘ總動員物資ノ生產若ヘ修理ヲ業トスル者又ヘ試驗研究機關ノ管理者ニ對シ試驗研究ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 政府ハ國家總動員上必要アルトキヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生產又ヘ修理ヲ業トスル者ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證シ又ヘ補助金ヲ交付スルコト

ヲ得此ノ場合ニ於テ政府ヘ其ノ者ニ對シ總動員物資ノ生産若ヘ修理ヲ爲サシメ又ハ國家總動員上必要ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 政府ヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條、第十四條若ヘ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル處分第九條ノ規定ニ依ル輸出若ヘ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通、有價證券ノ應募、引受若ヘ買入、債務ノ引受若ヘ債務ノ保證ノ命令、第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ヘ改良ノ命令又ヘ第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ委託、讓渡、廢止若ヘ休止若ヘ法人ノ目的變更若ヘ解散ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス但シ第二項ノ場合ヘ此ノ限ニ在ラズ(ろ)

總動員業務ヲ行フ者ヘ第十條、第十三條第三項又ヘ第十四條ノ規定ニ依リ使用、收用又ヘ實施ヲ爲ス場合ニ於テヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スペシ(ろ)

第二十八條 政府ヘ第二十二條、第二十三條又ヘ第二十五條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲ス場合ニ於テヘ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償シ又ヘ補助金ヲ交付ス

第二十九條 前二條ノ規定ニ依ル補償ノ金額及第十五條ノ規定ニ依ル買受ノ價額ハ總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政府之ヲ定ム(ろ)

總動員補償委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十條 政府ヘ第二十六條又ヘ第二十八條ノ規定ニ依リ利益ノ保證又ヘ補助金ノ交付ヲ受クル事業ヲ監督シ之ガ爲必要ナル命令又ヘ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ヘ國家總動員上必要アルトキヘ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ヘ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ヘ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十年以下ノ懲役又ヘ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス(ろ)

一 第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
二 第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十二條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ヘ輸入ヲ爲シ又ヘ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ヘ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ輸出又ヘ輸入ヲ爲シ又ヘ爲サントシタル物ニシテ犯人ノ所有シ又ヘ所持スルモノハ之ヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ヘ一部ヲ沒收スルコト能ヘザルトキヘ其ノ價

額ヲ追徵スルコトヲ得

- 第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヘ三年以下ノ懲役又ヘ五千圓以下ノ罰金ニ處ス(ろ)
- 一 第七條ノ規定ニ依ル命令又ヘ制限若ヘ禁止ニ違反シタル者
 - 二 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ヘ輸入ヲ爲サザル者
 - 三 第十條ノ規定ニ依ル總動員物資ノ使用又ヘ收用ヲ拒ミ、妨ゲ又ヘ忌避シタル者
 - 四 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若ヘ工作物ノ管理、使用若ヘ收用又ヘ從業者ノ供用ヲ拒ミ、妨ゲ又ヘ忌避シタル者
- 第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヘ二年以下ノ懲役又ヘ三千圓以下ノ罰金ニ處ス(ろ)
- 一 第十一條ノ規定ニ依ル制限若ヘ禁止又ヘ命令ニ違反シタル者
 - 二 第十六條ノ規定ニ依ル制限若ヘ禁止又ヘ命令ニ違反シタル者
 - 三 第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者(ろ)
 - 四 第十六條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者(ろ)
- 五、第十七條若ヘ第十八條第五項ノ規定ニ違反シ認可ヲ受ケズシテ統制協定若ヘ統制規程ヲ設定、變更若ヘ廢止シ又ヘ第十七條若ヘ第十八條第五項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
- 六 第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ保有ヲ爲サザル者
- 七 第二十六條ノ規定ニ違反シ、生產修理又ヘ設備ヲ爲サザル者
- 第三十五條 前四條ノ罪ヲ犯シタル者ニヘ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得(ろ)
- 第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヘ一年以下ノ懲役又ヘ千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 第四條ノ規定ニ依ル徵用ニ應ゼズ又ヘ同條ノ規定ニ依ル業務ニ從事セザル者
 - 二 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
- 第三十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヘ三千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
 - 二 第二十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ計畫ノ設定又ヘ演練ヲ爲サザル者
 - 三 第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ試驗研究ヲ爲サザル者
- 第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヘ千圓以下ノ罰金ニ處ス
- 一 第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ團體又ヘ會社ノ設立ヲ爲サザル者
 - 二 第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
 - 三 第三十條ノ規定ニ依ル命令又ヘ處分ニ違反シタル者

四 第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ヘ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

第三十九條 第二十條第一項ノ規定ニ依ル制限又ヘ禁止ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテヘ
發行人及編輯人、其ノ他ノ出版物ニ在リテヘ發行者及著作者ヲ一年以下ノ懲役若ヘ禁錮又ヘ
二千圓以下ノ罰金ニ處ス

新聞紙ニ在リテヘ編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者及掲載ノ記事ニ署名シタル者亦
前項ニ同ジ

第四十條 第二十條第二項ノ規定ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ヘ六月以下ノ懲役若ヘ
禁錮又ヘ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 前二條ノ罪ニヘ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セズ

第四十二條 第三十一条ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ヘ忌避シタル者ヘ六月以
下ノ懲役又ヘ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第二十一條ノ規定ニ違反シテ申告ヲ怠リ又ヘ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ヘ忌避シタル者
ヘ五十圓以下ノ罰金又ヘ拘留若ヘ科料ニ處ス

第四十四條 總動員業務ニ從事シタル者其ノ業務遂行ニ關シ知得シタル當該官廳指定ノ總動員

業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ヘ竊用シタルトキヘ二年以下ノ懲役又ヘ一千圓以下ノ罰金
ニ處ス

公務員又ヘ其ノ職ニ在リタル者職務上知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ
機密ヲ漏泄又ヘ竊用シタルトキヘ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四十五條 公務員又ヘ其ノ職ニ在リタル者本法ノ規定ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル法人
又ヘ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ヘ竊用シタルトキヘ二年以下ノ懲役又ヘ一千圓以下ノ罰金ニ
處ス

第十八條第一項又ヘ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレタル團體又ヘ會
社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員若ヘ使用人又ヘ其ノ職ニ
在リタル者其ノ業務執行ニ關シ知得シタル法人又ヘ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ヘ竊用シタル
トキ亦前項ニ同ジ(ろ)

第四十六條 第十八條第一項又ヘ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレタル
團體又ヘ會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員又ヘ使用人其
ノ擔當ズル統制事務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ヘ之ヲ要求若ヘ約束シタルトキヘ二年以下ノ懲役

ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ヘ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキヘ五年以下ノ懲役ニ處ス(ろ)
前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ヘ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ヘ一部ヲ沒收スルコト能ヘザ
ルトキヘ其ノ價額ヲ追徴ス

第四十七條 前條第一項ニ掲タル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ヘ約束シタル者ヘ二年以下ノ懲
役又ヘ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキヘ其ノ刑ヲ減輕又ヘ免除スルコトヲ得

第四十八條 法人ノ代表者又ヘ法人若ヘ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ヘ人ノ
業務ニ關シ第三十一條ノ二乃至第三十四條、第三十六條第二號、第三十七條、第三十八條又
ヘ第四十三條前段ノ違反行爲ヲ爲シタルトキヘ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ヘ人ニ對シ各
本條ノ罰金刑又ヘ科料刑ヲ科ス(ろ)

第四十九條 前條ノ規定ヘ本法施行地ニ本店又ヘ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理
人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ
住所ヲ有スル人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦
同ジ

本法ノ罰則ヘ本法施行地外ニ於テ罪ヲ犯シタル帝國臣民ニモ之ヲ適用ス

第五十條 本法施行ニ關スル重要事項(軍機ニ關スルモノヲ除ク)ニ付政府ノ諮詢ニ應ズル爲國
家總動員審議會ヲ置ク

國家總動員審議會ニ關スル規程ヘ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ヘ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十三年勅令第三百十五號ヲ以
テ昭和十三年五月五日ヨリ施行)

軍需工業動員法及昭和十二年法律第八十八號ヘ之ヲ廢止ス

本法施行前軍需工業動員法ニ基キテ爲シタル命令又ヘ處分ヘ之ヲ本法中ノ相當規定ニ基キテ
爲シタルモノト看做ス

軍需工業動員法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テヘ仍舊法ニ依ル

附 則

(昭和十六年法律第十九號)

本法施行ノ期日ヘ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十六年勅令第二百五號ヲ以テ
テ昭和十六年三月二十日ヨリ施行)

總動員業務指定令

(昭和十四年七月五日
勅令第四百四十三號)

改正 昭和十七年一月三十一日勅令第五十四號(い)

- 國家總動員法第三條第九號ノ規定ニ依リ國家總動員上必要ナル業務ヲ指定スルコト左ノ如シ
- 一 軍事上特ニ必要ナル土木建築ニ關スル業務
 - 二 國家總動員上必要ナル證券ノ生産ニ關スル業務(い)
 - 三 國家總動員上必要ナル從業者ノ住宅ノ供給ニ關スル業務(い)
- 附 則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和十七年勅令第五十四號)